

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	あさひ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成28年 9月15日

総 評	<p>「あさひ保育園」は宇治市の東部に位置し、豊かな自然や閑静な住宅街に囲まれた地域にあります。「心も身体も元気な子」を保育理念とし、子どもたちが社会人になった時に困らないよう躰を身につけることを大切にされています。園内はゆったりとした広さがあり、乳児棟が独立して設置されているなど、子どもたちが落ち着いて活動できるゆとりのある空間が確保されています。また、食育の取り組みとして野菜を栽培し、献立に取り入れています。</p> <p>保育園の機能を地域に還元する取り組みとして、妊婦さんや乳児を育児中の保護者の方の為に保育参加や子育て相談を行う「ももちゃんクラブ」や、地域の子どもたちや保護者、在園児の親子を対象にした「おしゃべりひろば」を定期的で開催しています。また、デイサービスやグループホームの方々との交流の機会も設けています。</p> <p>施設長をはじめ管理者は、常に職員の就業状況や意向を把握するよう努めており、有給休暇の取得促進やワークライフバランスに配慮するなど、働きやすい職場環境作りに取り組まれています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な園内での公開保育を実施されており、他のクラスの職員と意見交換を行うなど、職員が主体的に保育の質の向上に取り組まれています。 地域とのかかわりを大切にするために、未就園児や地域の親子を対象とした活動やデイサービス等の高齢者との交流を定期的で開催しています。また、中高生の職業体験や卒園児の中学生の同窓会を保育園で行っています。 園長は保育カウンセラー初・中・上級コースを習得し、若手職員への指導もなされ、保護者が安心して相談できる体制を整えています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 標準的な実施方法にそった保育の提供がなされていることを口頭では確認できましたが、文書化されていませんので、実施されている標準方法を文書化されると良いでしょう。 事業計画を策定する際に、職員間で意見を出し合ったものが集約されています。今後は、各年の達成状況を職員が参画し評価した上で、毎年事業計画の見直しが行われるとなお良いでしょう。 職員が小学校との連絡会や参観に参加していますが、保育計画にも小学校との連携や就学に関する事項を明確に記載し保育に生かせるようにする必要があります。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

【様式 9-2】

【保育所版】 評価結果対比シート

(注) 判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	あさひ 保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成29年 9月15日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項目番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	b
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	b
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	b
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	b
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	b

[自由記述欄]

・地域の状況や経営状況を把握されていますが、今後は、保育のコスト分析や、一時預かりや子育て支援事業の利用率の分析を行われるとなお良いでしょう。

・経営課題について、管理者だけでなく役員（理事・監事等）や職員間で共有されているとなお良いでしょう。

・中長期の事業計画は策定されていましたが、収支計画が確認できませんでした。

・単年度の事業計画は策定されていましたが、目標を具体化したり、数値目標（子育て支援事業など）を設定するとなお良いでしょう。

・事業計画を策定する際に、職員間で意見を出し合ったものが集約されています。今後は、各年の達成状況を職員が参画し評価した上で、毎年事業計画の見直しが行われるとなお良いでしょう。

・事業計画の内容をわかりやすく説明した資料などを作成するなど、保護者の理解を促す取り組みがあればなお良いでしょう。

・園内で公開保育を行い、他クラスの職員と意見交換を行うなど保育の質の向上に取り組まれています。今後は、定められた評価基準に基づいた自己評価を年に1回行うとなお良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任と リーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	b
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a
II-2 福祉人材の確保・ 育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事 管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	a
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	18		② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	b
	19		③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	b
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる 専門職の研修・育成が適切に行わ れている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	b	
II-3 運営の透明性の確 保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取 組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
II-4 地域との交流、地 域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されて いる。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されて いる。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a
		II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を 行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a
	27		② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	b

[自由記述欄]

- ・施設長は、順守すべき法令等についてリスト化し、職員に対しても指導していくことが望まれます。
- ・施設長は、OJT研修を2ヶ月に1回開催するなど保育の質の向上に指導力を発揮されています。今後は、保育の質について継続的に評価・分析を行われるとよいでしょう。
- ・職員面談を定期的で開催されています。職員の悩み相談窓口が設置され、職員に周知されていればよいでしょう
- ・年度末の職員会議において、職員が来年度の目標を自ら設定しています。今後は、個々の職員の目標設定が適切であるか、必要によっては管理者が評価・分析を行うとよいでしょう。
- ・「階層別人材育成計画」が策定されており、経験年数別に必要な研修が記載されています。今後は、計画について定期的に評価・見直しを行うとよいでしょう。
- ・研修参加者は研修後にレポートを提出しています。今後は、研修成果の評価・分析が行われればよいでしょう。
- ・保育実習については、期間中に0歳から5歳まで全ての年齢の保育を学べるように工夫されています。今後は、実習指導者に対する研修を実施されるとよいでしょう。
- ・ホームページを活用し、保育理念や第三者評価結果、現況報告書などを適切に公開されています。今後は、苦情相談体制やその改善、対応状況についても公表されるとよいでしょう。

・保育園における事務・経理・取引について、外部の行政書士に依頼し助言を受けています。

・未就園児対象の「ももちゃんクラブ」と地域の子どもたちや保護者、在園児の親子を対象に「おしゃべりひろば」を定期的で開催しています。また、デイサービスやグループホームの方とも年5回交流を行っています。中高生の職場体験の受け入れの際には、事前のオリエンテーションにて活動・学習時の配慮や注意事項等の説明を行っています。

・地域の子どもや保護者等との交流の機会を定期的に取り組んでいますが、その内容の中に保育所の専門性や特性を活かした取り組みなどを実施されるとなおいでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	b	
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	b	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a	
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a	
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	b	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a	
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a	
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	b	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	b	
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a	
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	b	
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a	
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	c
			41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	c
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	b	
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	b	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	b	
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	b	

[自由記述欄]

- ・子どもの人権に配慮し、一人ひとりの人格を尊重した保育を実践することを常に心がけて保育に携わっています。
- ・プライバシー保護についての規定・マニュアル等の整備がされており、子どものプライバシーや権利擁護について保育がなされることも伺がえました。
- ・入園の際には、園の方針や保育内容などがわかりやすくまとめられた「園のしおり」に基づき保護者などが理解しやすいように説明会を行い、保護者などの同意を得ています。
- ・保育所等の変更にあたっては、保育の継続性に配慮し、引き継ぎ文書を渡しています。卒園後にも園行事の「あさひまつり」の案内や中学生の同窓会を開催し、来園のきっかけづくりとしていますが、相談できる窓口や担当者を明示するとより良いでしょう。
- ・苦情解決の仕組みは整備され、苦情についての受け付けや解決を図っていますが、保護者アンケートなど保護者などが苦情を申し出しやすい取り組みをするとより良いでしょう。
- ・リスクマネジメントに関する委員会等を設置し組織的な体制の整備は確認できませんでしたが、園内のヒヤリハットマップを活用し、職員会議で改善策や再発防止策について検討し実施に努めています。
- ・感染症の予防や対応についてのマニュアルは整備されています。また、「園のしおり」に感染症の予防と発生時の対応が記載され、園内での感染症発症状況を適切に保護者に周知されています。

・災害時の対応マニュアルは整備され避難訓練は毎月実施されています。また、建物や設備等について業者による点検を年2回行い災害に備えていますが、食料等の備蓄の確認ができませんでした。

・不審者対策のために各門や各部屋すべてに防犯カメラが設置されています。

・標準的な実施方法は、職員会議録や新人研修記録に記載され、また検討・見直しにあたって職員等の意見を取り上げて見直しをされています。今後は、標準的な実施方法だけを明確にして文書化されるとなお良いでしょう。

・3歳未満児の障害のある子どもについての身体状況や発達や生活などの状況を把握し、それをもとに指導計画が策定されていますが、様々な職種の関係職員等や保護者の意向を含んだ個別の児童計画を策定されるとなお良いでしょう。

・指導計画についての評価見直しは月に1回と年度替わりに職員会議で実施していることが聞き取れましたが、保護者の意向や同意についての仕組みについては確認できませんでした。

・個別の成長記録や指導計画の記録を確認することができましたが、個人懇談会などの記録の様式が自由記載とされているので、統一性のある様式を用いるとなお良いでしょう。個別の情報は的確に届くように伝達され、また、職員会議で共有を図っています。

・子どもに関する記録の規定が有り、職員室に掲示し職員への周知が図られています。また、個人情報保護に対する基本方針は「園のしおり」に記載し、保護者にも周知しています。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
A-1 保育内容	A-1-1 (1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	b	
		A-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	b
			48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	b
			49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
			50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	b
			51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
			52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
			53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
			54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
			55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
	56		⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	b	
	A-1-1 (3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	b	
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	b	
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	b	
	A-1-1 (4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a	
61		② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	b		

[自由記述欄]

- ・保育課程は年度末に職員が話し合い作成されています。話し合った内容を記録し、改善・評価した状況がわかるようにするとお良いでしょう。
- ・園舎内外は整理整頓がなされ清潔な環境が整っています。子ども一人ひとりがくつろいだり落ち着ける場を設けるとお良いでしょう。
- ・保育士等は子ども一人ひとりを受容し、個々にあった言葉がけに努めており、無理強いすることなく生活習慣が身につくよう配慮、援助がなされています。指導計画や、記録に反映されると良いでしょう。
- ・玩具の種類、数が十分に整えられています。保育室内での遊びについては、自分の遊びたいおもちゃなどがすぐに取り出せるような環境があると良いでしょう。
- ・乳児棟が独立して設置されており、延長保育担当者を含め、保育者が固定化され、信頼関係が築けるよう工夫されています。指導計画に援助、配慮事項が反映されるとお良いでしょう。
- ・1・2歳児においてはグループ担当制で保育を行い、一人ひとりの子どもの状態に応じています。自分のスペースとして、一人でいられるような空間づくりなどがあると良いでしょう。
- ・3歳以上児の保育では縦割り保育を実施し、年下のこどもへ配慮する心や態度を育み、年上のこどもへの憧れ、挑戦する心を育てています。
- ・障害のある子どもに関する個別計画を作成し、個々の発達にあわせた保育を行っています。クラスとの指導計画と連動されるとお良いでしょう。
- ・担任以外の保育士から保護者への伝達事項に漏れの無いよう保育士間の伝言板をつくり、活用しています。指導計画に長時間保育についての位置づけをされることとお良いでしょう。
- ・職員が小学校連絡会、参観に参加しています。保育計画に小学校との連携や就学に関する事項を明確に記載し保育に生かせるようにするとお良いでしょう。

・入園説明会でこどもの健康に係る方針、考え方の説明がなされ、保護者と情報を共有しています。子どもに関する保健計画は年間を通して立て、健康診断の結果が保育に反映されるよう工夫されるとなお良いでしょう。

・慢性疾患、アレルギー疾患を持つ園児については、保護者と共に主治医の説明をきき、集団生活におけるアドバイスをもらうなど、保護者に寄り添い情報共有しています。食物アレルギーにかかる誤食時・接触時の緊急手順を定め、対応マニュアルに沿って定期的に訓練を行うと良いでしょう。

・各クラスにプランターを配布し自分たちで育てた野菜を食べる機会を作るなど、食事を楽しむ工夫がなされています。家庭との連携では、給食参観、試食会を行い、食育の考え方を共有する場を設けています。

・毎月の給食会議、毎日の残食調査の結果を献立や調理にかかっています。給食室の衛生管理マニュアルは整備されています。保育室における衛生管理マニュアルとしても意識されるとなお良いでしょう。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	b
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

- ・家庭とは参観、クラス懇談、親子遠足、一日保育士体験などさまざまな機会を利用し相互理解を深めるよう努めています。保護者と情報交換をするにあたっては、記録する内容について基準を定めて職員が共通の認識を持てるよう工夫されるとなおいでしょう。
- ・園長は保育カウンセラー初・中・上級コースを習得し、若手職員への指導もなされ、保護者が安心して相談できる体制を整えています。
- ・虐待等権利侵害を発見した場合の対応などについてのマニュアルが整備されています。このマニュアルに基づき職員研修を行うとなおいでしょう。
- ・保育士自己評価の様式等が整えられ、年2回行われています。